

# 平成30年度 第1回一宮市特別職報酬等審議会

## 1 日 時

平成30年10月3日（水） 午前10時00分～午前11時30分

## 2 会 場

一宮市役所本庁舎11階 1103会議室

## 3 出席委員（9名）

太田一弘 河村正夫 稲垣敏志 豊島半七 木村孚男  
牛田幸夫 土川ますみ 岡西美子 伊藤雅淑

## 4 欠席委員（1名）

伊藤俊彦

## 5 事務局

中野市長（諮問後退席） 熊沢総合政策部長 岩田議会事務局長  
長谷川総合政策部次長 山内人事課長 滝野財政課長 中村人事課専任課長  
伊藤同課長補佐 鈴木同課長補佐 長尾同主査 岸同主査

## 6 審議内容（概要）

- ・ 人事課長により審議会の成立について確認
- ・ 市長あいさつ
- ・ 委員の互選により、豊島委員を会長とすることに決定
- ・ 豊島会長があいさつの後、会長職務代理者に牛田委員を指名
- ・ 市長が豊島会長へ諮問
- ・ 人事課長、財政課長による配布資料の概要説明
- ・ 審議に入る

質疑応答の概要は、以下のとおり。

### 豊島会長

事務局から説明を受けましたが、何かご意見等はありませんか。

### 河村委員

平成30年度の地方交付税の見込みはどうなっていますか。

### 財政課長

30年度の普通交付税は、約95億円と確定しています。30年度は合併後13年が経過し、合併の特例として増額されていた地方交付税が50%ほどで約5.7億円減らされたことが、普通交付税全体で1億円ほどの減額に影響しています。

## 豊島会長

それでは、本題に入り、慣例により議員報酬から意見を伺っていきたくと思います。「据え置き」ならいいですが、「上げる」「下げる」ならどの程度にしましょうか。

## 稲垣委員

消費税率が、来年上がるかどうか分からないですし、中核市移行の時期も考えておかなければならないと思います。中核市に移行するのはいつですか。

## 総合政策部長

中核市へは、2021年に移行する予定です。

## 稲垣委員

消費税率引上げの有無が確定してない段階で、今報酬を決めていいのか疑問ですね。前回、議員報酬を引き上げたのは、議員定数が減ったタイミングでしたが、今回も前回に比べ人口が減少しているようなので、議員定数との関係も含めて考えてはいかがでしょうか。

## 豊島会長

そうですね。消費税率引上げの動向や一宮市の将来展望なども考えながら、とりあえずは、「据え置き」ということでよろしいですか。

## 河村委員

まず、議員報酬を下げる要因はないと思います。重要なのは、人事院勧告により職員の給料がどのように推移しているか、また一宮市の経済状況がどうであるかではないでしょうか。そういったことを考慮すると、報酬アップの要因としてあげられるのは、県内同一規模の豊田、豊橋、岡崎に比べて一宮市の議長報酬月額が約10万円低く、全国同規模市の中でも低い位置づけであることです。据え置き要素としては、議員報酬・一般職給料対比表に基づいた人事課長の説明の中で、「ここ4年間人事院勧告により職員の給料は微増の状態ですが、議長の報酬は4年前に2万5千円上がっている。」とございました。また、消費税率が上がるというのは、今の時点では不確定であり、据え置き要素のほうが強いのではないのでしょうか。

## 土川委員

財政力を示す一宮市の財政力指数が1を切っており、0.84と自主財源の割合が高くないのに報酬を上げるのはどうかと思います。

## 伊藤(雅)委員

今の時点では、報酬を決めるにあたって不確定な要素が多いと思います。報酬をプラスにする要因、マイナスにする要因が定まらない中で、今は報酬を「上げる」のも「下げる」のも難しいのではないのでしょうか。特別職報酬等審議会は何年おきに開催されますか。もし、報酬を「据え置き」にした場合、次回報酬を決める時期というのは、今日決定する事項でしょうか。

来年の秋に消費税率が上がるのであれば、来年の今頃には一宮市の景気動向も把握できるのではないかと思います。消費税率引上げの有無などによる景気

動向を把握するために審議会を来年の秋に開催していただくというのはいかがでしょうか。

#### **豊島会長**

以前にも報酬を上げる時期かどうか悩んだことがありましたが、その時は結果として10年ぶりに報酬を上げました。その上で、2年後に再度審議会を開催していただき、上げてよかったのかどうかの確認をしました。このように、審議会の開催について、「来年臨時で開催していただきたいとか期間の変更をしていただきたい」などという付帯意見を審議会としてあげることはできます。

#### **伊藤(雅)委員**

会長が始めに議員報酬から進めましようとおっしゃいましたが、消費税率の引上げなどによる景気の動向が定まらない今年度は、市長・副市長を含め全て「据え置き」で様子を見たほうがいいのではないのでしょうか。

#### **太田委員**

一宮市は県内の市の中で37市中31位と財政力が低いので、報酬を上げるのは難しいのではないのでしょうか。消費税率引上げの有無が正式に決まっていなので、今の状態では「据え置き」が妥当ではないかと思います。

#### **木村委員**

名古屋市を含めると一宮市は県下4番目の人口ですが、県下4番目にしては報酬が低いと感じます。前向きに考え、報酬を上げてみなさんにがんばってもらうのはどうでしょうか。前々回開催された審議会から4年間は引上げがなかったということですよ。世の中は景気がいいという話をよく耳にしますので、県下4番目の都市にふさわしい報酬に上げればいいのではないのでしょうか。

#### **岡西委員**

報酬を上げることができたらいいとは思いますが、4年後の経済状況の見通しが立たない中、報酬を上げるのは難しいと思うので、とりあえずは、「据え置き」がいいのではないかと思います。

#### **牛田委員**

先ほど、土川委員がおっしゃった財政力指数は、1を超えると交付税がないということですか。

#### **財政課長**

その通りです。財政力指数は、実際の歳入歳出から割り出しているものではなく、国が地方自治体に対して地方交付税を算定するために出す指標です。財政力指数が高いほど、自主財源の割合が高く財政力指数が1を超える団体には地方交付税は交付されません。一宮市は、一宮市の人口規模や状況であれば福祉・教育などの住民サービスに必要と推測される金額に対して、税金・その他の交付税など国から入る金額を計算すると同規模の市と比べ税金が少し低めです。歳出に対して入るお金が少ないので、財政力指数が1を切ってしまう。税金が増えれば、財政力指数も1に近づいてきます。

#### **牛田委員**

今後、一宮市の税収を上げるために企業誘致など何か計画はありますか。

#### 財政課長

企業誘致だけではございませんが、例えば企業に対して補助金などを用意して、企業にきてもらうことにより、企業からの税収だけではなく、雇用が生み出されます。それにより、生産性が高くより収入を生み出していただける方に住んでもらい、個人市民税の税収を増やすといった努力はしています。また、福祉施策では、保育園で乳児保育の定員を増やすこと、子ども医療を充実させることなどにより、家族で一宮市に住んでいただくことによって、税収をアップしていくといった努力はしています。

#### 牛田委員

少しでも税収を上げられたらと思います。

#### 豊島会長

それでは、伊藤(雅)委員がおっしゃったように市長・副市長も含めて議論をさせていただきます。また、岡西委員がおっしゃったように審議会を開催する時期が違うのではないかという意見もありますが、いかがですか。消費税率が来年引上げとなるため、今回は見送った方がいいですか。もし見送った場合は、今回報酬を上げず、次回4年後の開催時に再度検討するというのが正しいでしょうか。

過去にも2年後に開催したことがあります。「報酬を上げたいけれど、来年の消費税率引上げ後の様子を見たい。」という意見の方がほとんどの中で、「報酬見直し時期の変更」という意見もありました。報酬見直し時期の変更については、検討に値すると思われれます。

#### 稲垣委員

審議会開催が、4年に1回というのは、期間が開きすぎではないかと思えます。また、今年は、今後の経済状況が一番読みにくい年ではないですか。

#### 豊島会長

今回は「据え置き」にして、オリンピックや消費税率引上げの動向を見て、来年又は2年後に決定を先送りするのがいいのではないのでしょうか。岡西委員、伊藤(雅)委員は、そのような意見でよかったですね。

(岡西委員・伊藤(雅)委員賛同)

#### 河村委員

審議会を4年に1回開催するというのは、条例ではなく慣例で行っているだけであり、本来は市長の諮問に基づき行うものなので、諮問があれば毎年開催してもよいと思えます。今回も4年待たずに早めに開催していただくのがいいのではないのでしょうか。

#### 太田委員

必要に応じて開催してもらえばいいと思えます。

#### 土川委員

次回開催まで4年というのはちょっと期間が開きすぎではないですか。

#### 木村委員

私はみなさんの意見と同じでかまいません。

#### 豊島委員

審議会として、「今回報酬を上げるかどうかは、来年、消費税率が引き上げられるかどうかという問題があるので見送り、審議を来年又は2年後に先延ばしをしていただく。」という意見を出してもよろしいですか。

#### 河村委員

消費税率の引上げは、来年のこの時期には決定していると思われませんが、景気動向を見てからということ、例えば「景気が上を向くから」というのではなく、「景気が上を向いた状況を確認した上」で判断するということになるので、次の開催は1年半又は2年後の方がいいのではないのでしょうか。

#### 豊島会長

秋に審議会を開催していますが、報酬は、4月1日から変更となるのですか。それとも、審議会の翌月から変更になるのですか。

#### 人事課長

報酬金額等変更の実施時期について、前は、市長・副市長の給料は翌年4月から、議長・副議長・議員は翌年5月から変更しています。基本的には、年度単位の変更となります。開催間隔についても過去はずっと4年間隔で開催していましたが、「開催間隔はもっと短い方が適当だ」という付帯意見をいただければ、事務局としてはそのように準備を進めていきたいと思えます。

#### 豊島会長

現在は審議会を秋に開催していますが、これは予算編成上の都合ですか。河村委員が言われたように消費税率が上がった後の経済状況を確認したいと思うことは可能ですか。タイムスケジュール的にはできると思いますがいかがでしょうか。消費税率引上げ後の経済状況を見たいということであれば、開催時期を10月ではなく、少し後にずらすということはできませんか。

#### 人事課長

開催時期については、10月開催という縛りはございませんが、これより遅いと翌年度の予算への反映が時期的に難しくなります。さらに国が経済情勢を受けて国家公務員の給料を決める人事院勧告が出るのが夏から秋にかけてございまして、それを参考に審議しようと思えますと、時期的には人事院勧告後の方が新しい数字を参考に検討いただけるのではないかと思います。

#### 豊島会長

報酬額の変更を予算化するための期限はいつになりますか。

#### 財政課長

事務経費の予算については、11月頃から査定を始めて、最終的には1月中旬に市長査定を行います。現実には厳しいですが、変更後の金額を予算として反映できるかどうかということだけで考えれば、年明けまでは金額を変更できる

状況です。通常の予算としてあげるには難しいですが、事務的に新年度予算に間に合うかどうかと言われるとできないことはございません。

#### 人事課長

予算編成上、日程的に12月より後の開催は厳しいですが、11月から12月にかけてであれば消費税率引上げの状況を見ながら、できないことはありません。毎回11月12月となるとちょっと厳しいですが、来年は消費税率の引上げ時期と重なるため、経済状況などを見てから開催するというところで、よろしいでしょうか。

#### 豊島会長

木村委員が最初に言われたように、昔は仕事をしたことに対して対価を支払うという考え方でしたが、今は報酬を支払うから仕事をしてくださいという考え方に変わってきています。世の中が、報酬を支払ったから責任を果たすという動きに変わっているのは事実ですね。

#### 木村委員

選挙で選ばれた公職の方は我々市民の代表なので、モチベーションを上げ前向きにしっかり取り組んでいただくためにも報酬を上げてはどうでしょうか。無報酬でもいいという考え方もあると思いますが、名実ともに県下4番目にふさわしい都市になってほしいと思います。一宮市の活性化のためにも報酬を上げることによって、しっかり働いていただけたらいいと思います。

#### 豊島会長

木村委員のおっしゃるとおりだと思います。

#### 木村委員

消費税率の引上げは来年10月の予定ですが、また延長になりかねないのではないのでしょうか。今回も報酬の引上げを先延ばしするのはどうかと思います。消費税率の動向を見てという考えも分からないではありませんが、前回の報酬引上げ以降4年間報酬を上げてないことは事実なので、上げないといけないと思います。

#### 豊島会長

木村委員のように報酬を上げるべきという意見もございしますが、他のみなさんの意見をいくつか反映できるとすると「今年は『据え置き』、来年は消費税率引上げの確定を見て、10月中旬から11月にかけて審議会を開催し、もう少し前向きな議論ができるかどうか検討する。」というのはいかがでしょうか。これに対して、ご自分の思いと違うという方はみえますか。よろしいですか。

(全員賛同)

#### 岡西委員

本当は、報酬を上げる方向がいいということとはとてもよく分かります。しかし、いったん報酬を上げてしまうと下げることはなかなか難しいので、消費税率引上げ後の経済状況やオリンピック景気を見定め、しっかり審議をするということで、今回は「据え置き」がいいのではないのでしょうか。

## 豊島会長

それでは、みなさん、「来年の秋にもう一度審議会を開催する。」ということ  
を付帯意見とすることでいいですね。

(全員賛同)

## 豊島会長

結論としては、「今年は据え置きして、再度来年秋に改めて経済状況を見て  
今年より遅めに、11月中には終われるスケジュールでの開催を要望する。」  
ということでしょうか。

4年に1回の開催ではインターバルが長すぎという話が出ましたが、「開催  
間隔をどうしたい」ということも審議会の付帯意見として言えるのでしょうか。

## 人事課長

今回は「来年再度開催したい」ということでよろしかったですか。前は、  
開催時に「再度2年後に開催を希望する」というご意見がございましたので、  
同じような形で「今回はこの時期に開催するのが適当ではないか」という付帯  
意見をいただきました。「次回、この時期に開催したい。」という付帯意見を  
いただければご要望の時期に開催できるよう進めさせていただきます。

## 豊島会長

開催時期のインターバルに関しての付帯意見は、今年の答申に盛り込めばよ  
ろしいでしょうか。それとも来年の答申に盛り込めばいいのでしょうか。

## 人事課長

「来年開催して、その後開催のインターバルを2年間隔にしたい。」という  
みなさんのご意見であれば、今年の答申に合わせていただければ結構です。

## 豊島会長

今回の答申でインターバルについての付帯意見を盛り込めばいいということ  
でしょうか。

## 人事課長

はい。また、「来年はとりあえず開催したい。その後の開催については、ま  
た議論したい。」というみなさんのお考えであれば、来年開催した際、「今後  
どうしたいか」という意見を改めていただいても結構でございます。

## 河村委員

少なくとも2年に1回は開催したほうがいいのではないのでしょうか。

## 豊島会長

せっかく今回の委員の中から開催時期に関するインターバルの話が出ました  
ので、今回のメンバーの答申としてインターバルについての付帯意見を盛り込  
んだ方が、議論した意義があるのではないかと思います。今までは、2年後に  
様子を見たいというだけで、インターバルに関して変更したいという議論をし  
たことはありませんでした。

みなさん同じような意見だったので、「来年開催していただき、その後は原  
則2年ごとの開催、緊急の場合は別途開催を希望します。」と今回のメンバー

の答申に盛り込んだほうがいいのではないのでしょうか。もし来年のメンバーで意見が違っていたら、来年変えていただければいいのではないですか。

**太田委員**

世の中の変動が激しいので、随時開催していただけたらいいと思います。

**伊藤(雅)委員**

その通りだと思います。開催間隔が 4 年というのは、少し長くはないですか。

**岡西委員**

伊藤(雅)委員と同じです。

**稲垣委員**

2 年くらいの開催間隔で状況に応じて開催するのがいいと思います。

**豊島会長**

もう一度整理しますと、「今年度は据え置き、消費税率引上げなどの社会情勢を見て来年度開催していただき、再度審議することを希望する。来年度からは原則として 2 年ごとの開催を希望する。その他、経済情勢などにより臨時に開催することを希望する。」というような答申内容で進めたいと思いますが、よろしいでしょうか。ただし、開催時期については、当審議会の直接の審議事項ではありませんので、付帯意見としての答申となります。その他、事務局から何かありますか。

**人事課長**

ありがとうございました。先ほどまとめていただきましたが、今日いただいたご意見を元に、次回はご案内させていただいたとおり 11 月 1 日に第 2 回の審議会を開催させていただき、事務局が作成した答申案についてご審議いただきたいと思います。次回は 6 階の特別会議室で開催を予定しております。ご案内については改めてお送りいたしますので、よろしく申し上げます。

事務局からは以上です。

**豊島会長**

他に何かありますか。よろしいでしょうか。

これにて、第 1 回の報酬審議会を終了いたします。ありがとうございました。

(午前 11 時 30 分終了)